

佐屋駅線路東に 駅舎東改札口を設けるか

佐藤 信男議員



東側の新規改札口の整備は行わない方針
産業建設部長



▲佐屋駅線路東の駅前広場計画地

問 都市計画決定を昭和53年にした。内容は。

答 佐屋駅の西側に約2千㎡、東側に約2600㎡の駅前広場を決定した。

問 都市計画の変更はどのように進んでいるか。

答 計画図は鉄道高架形式であり都市計画の見直しは厳しい。第1期工事で駅前広場、第2期工事で高架化する整備計画だ。

問 地域関係者による勉強会は、どんな内容か。

答 駅周辺の現状把握と課題整理、事業着手の前提条件、アンケート調査などに関する意見交換。また、駅周辺整備事業化調査、駅前広場等基本構想について意見交換を行った。

問 名古屋鉄道との協議は。駅舎の協議は。

答 駅舎の改修見込み、施設の移設見込み、東側駅前広場への駅舎設置の見込みについて協議した。

問 佐屋駅線路東に駅舎東改札口を設けるのか。

答 将来の鉄道高架化を想定し、現時点では東側の駅前広場への新規改札口の整備は行わない方針。

問 安全対策が不十分ではないか。

答 警察との協議の中で、踏切付近に歩行者のたまり場の整備、県道南の駐輪場を北側に集約するなど検討したい。

問 障がい者への配慮など対策は。

答 全ての方が駅前広場を円滑に利用できるようバリアフリーに配慮した整備に努める。

大規模自然災害について

問 大規模自然災害において、被災地で救助に従事した人から市民へのアドバイスは。

答 高齢者がいる家庭は避難行動を早めにする。普段から非常用の持ち出し品の準備、避難方法の確認など事前準備が大切。被災したときには、近所同士のつながりが重要で、被災直後の救助活動で家族構成や生活場所の特定が容易で、早期の救出に繋がる。